

# 週間市場レポート (2022年1月31日~2月4日)

## 1) 先週の市場動向

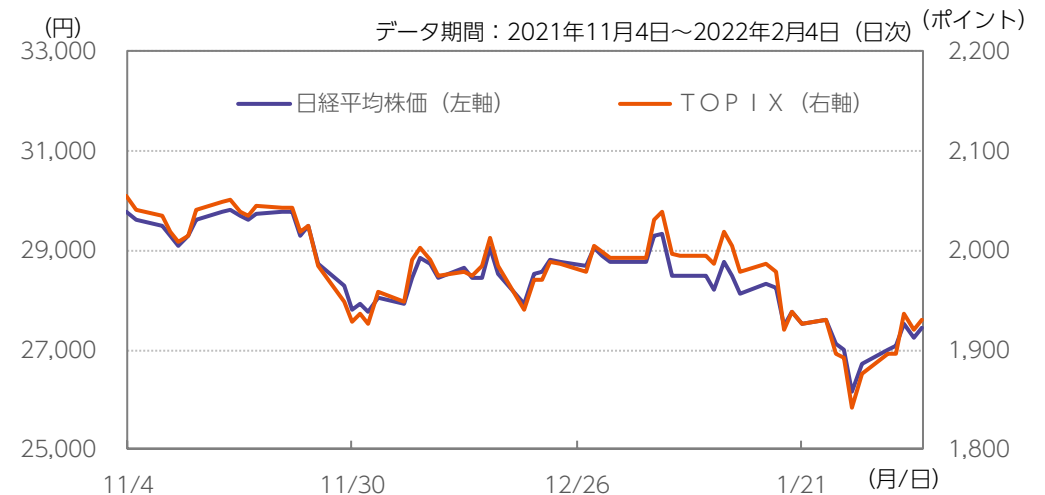
指数名	国	前週末 2022/1/28	先週末 2022/2/4	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		26,717.34	27,439.99	2.70 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,876.89	1,930.56	2.86 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,725.47	35,089.74	1.05 ↗
S&P500種指数		4,431.85	4,500.53	1.55 ↗
ナスダック総合指数		13,770.57	14,098.01	2.38 ↗
ユーロ・ストックス50指数		4,136.91	4,086.58	▲1.22 ↘
S&P/ASX300指数		6,983.65	7,122.15	1.98 ↗
上海総合指数		3,522.57	3,361.44	▲4.57 ↘
MSCI AC アジア (除く日本)*		927.23	952.02	2.67 ↗
東証REIT指数		1,940.95	1,929.93	▲0.57 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		890.31	888.81	▲0.17 ↘
ASX300 REIT 指数		1,571.20	1,615.70	2.83 ↗
グローバルREIT (除く日本)*		211.40	211.11	▲0.14 ↘
日本10年国債 (%)		0.171	0.198	0.027 ↗
米国10年国債 (%)		1.769	1.909	0.139 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.045	0.205	0.250 ↗
英国10年国債 (%)		1.244	1.411	0.167 ↗
ドル/円		115.26	115.26	0.00 ↗
ユーロ/円		128.58	131.96	2.63 ↗
英ポンド/円		154.56	156.03	0.95 ↗
豪ドル/円		80.57	81.53	1.20 ↗
フィラデルフィア半導体指数		3,303.40	3,453.07	4.53 ↗
WTI原油先物 (ドル)		86.82	92.31	6.32 ↗
CRB指数		252.85	261.29	3.34 ↗

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。

前週末の米株式市場でハイテク株式が上昇した流れを受け、週初は上昇、その後も決算発表を手掛かりに好業績銘柄を中心に幅広い銘柄の物色買いが進み4日続伸しました。4営業日で1,300円超上昇していたことから、上昇幅が大きかったグロース（成長）株などを中心に利益確定売りが進む場面もあったものの、週末は、前日に大きく下落した銘柄を中心に押し目買いが入り上昇しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース \*1 ▲はマイナスを表します。 \*2上海総合指数は春節(旧正月)連休中のため、前週(1月21日~1月28日)の価格を掲載。

≪ 債券 ≫

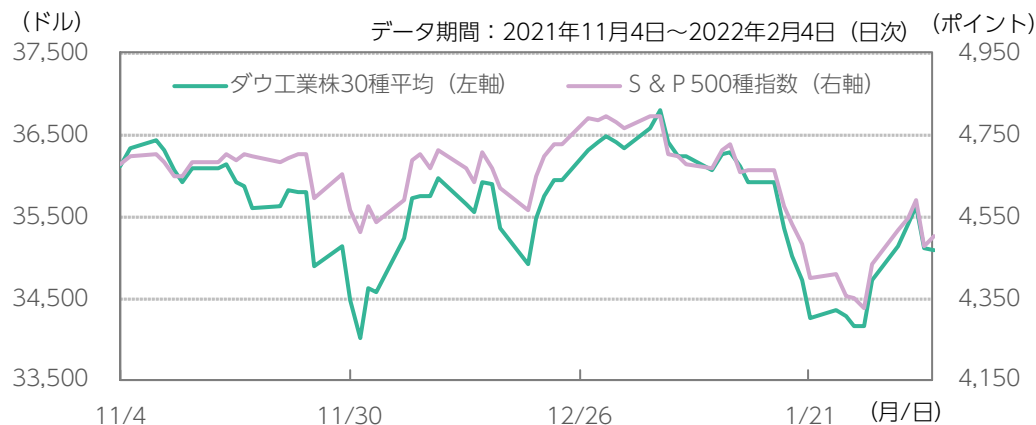
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇しました。複数の米連邦準備制度理事会（FRB）高官が利上げのペースに慎重な姿勢を示し、米国の早期利上げ観測がやや後退すると、国内金利も低下する場面もあったものの、日銀の金融政策の正常化をめぐり、海外勢を中心に売りが優勢となり（利回りは上昇）、週間では国内金利は上昇しました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

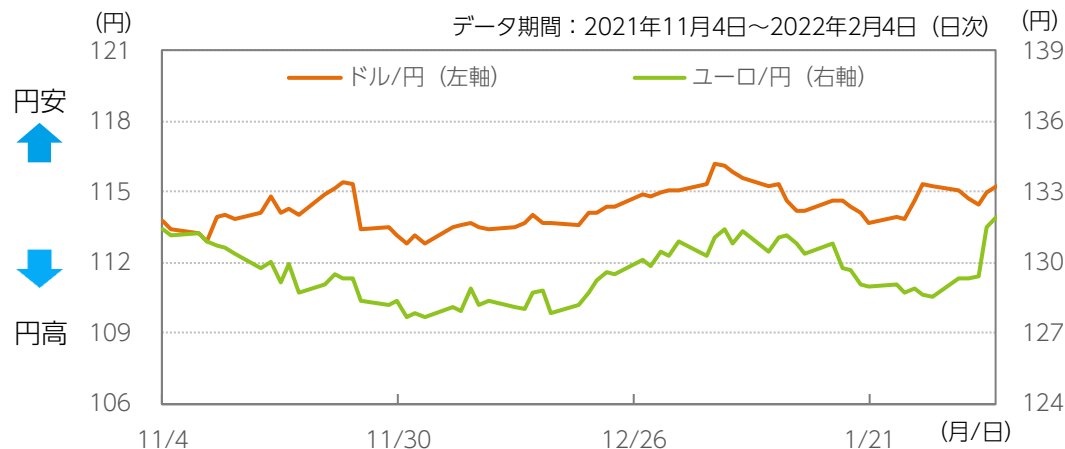
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇しました。複数のFRB高官から利上げペースをめぐり慎重な発言が相次いだことなどが好感され、前週末から4営業日連続で上昇したものの、大手ハイテク企業の売上げ見通しが市場予想を下回るとハイテク株を中心に大幅下落しました。週末は、1月の非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に上回り、利上げ圧力の高まりが意識され一時下落したものの、好調な企業決算を受け買戻しが進みました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。引き続き米国の利上げを見込んだ円売り米ドル買いが進む一方、日銀が金融政策を変更するとの思惑や、複数のFRB高官の利上げへの慎重姿勢を受け、日米金利差縮小を意識した円買い米ドル売りもあり、週間では横ばいとなりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、日米の企業の決算発表が本格化する中、好決算銘柄の物色買いが広がり、日米両市場ともに上昇しました。

週末に公表された米国の1月の雇用統計では、失業率は4.0%と前月から小幅に上昇しました。一方、非農業部門雇用者数が前月比+46.7万人と、新型コロナウイルスの感染拡大やそれにとまなう休業等にも関わらず、市場予想を大幅に上回ったことから、今後、米金融当局の利上げペースが速まることも予想されます。国内では3日（木）の新型コロナウイルス新規感染者数が初めて10万人を超え、首都圏を含む13都県では、まん延防止等重点措置が延長される見通しとなり、経済活動の本格的な正常化には時間を要するものとみられます。

今週も国内外で2021年10-12月期の企業決算が発表されます。引き続き決算発表や業績見通しなどを材料に個別銘柄の売買が活発となりそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>